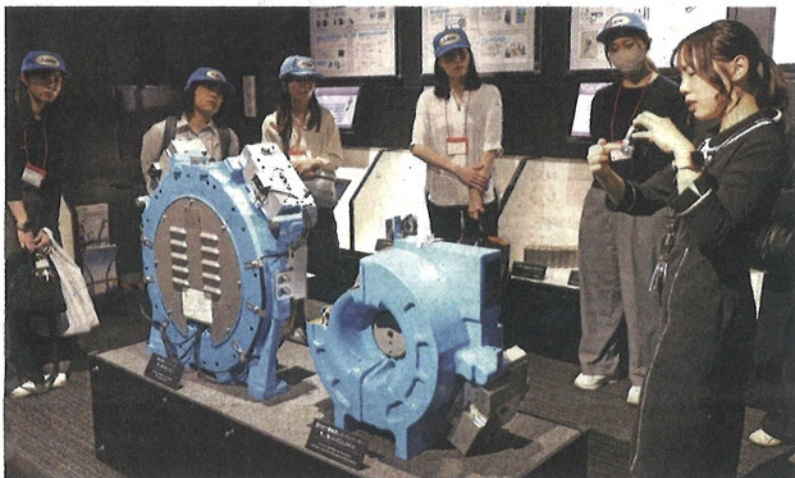


建通新聞 中部

稲沢市で「設備女子会」 昇降機の仕組みへの理解深める

見学会の様子



空へー。22日に稲沢市で開かれた「設備女子会」に約30人の女性設備技術者らが参加し、昇降機の仕組みや技術、ビルマネジメントシステムなどへの理解を深めた。三菱電機ビルソリューションズの「マザー工場」である稲沢ビルシステム製作所で、高さ173cmのエレベーター試験塔や同塔に隣接するショールーム、工場を見学。参加者が大きな関心を寄せていたのは、施設内に設置され、曲線を描きながら動く「スパイラルエスカレーター」。同社のみが製造技術を持つエスカレーターに参加者たちは興奮した様子で、仕組みや設置費用などについて質問していた。イベントは建築設備技術者協会中部支部が主催し、開催は12回目となった。

尾張・知多

稲沢の昇降機工場を見学 建築設備技術者協中部支部の設備女子会

【尾張】

一般社団法人建築設備技術者協会中部支部(名古屋市の設備女子会)は22日、稲沢市の三菱電機ビルソリューションズ稲沢ビルシステム製作所を見学した。設計会社や設備工事会社などから約30人が参加した。

見学先の同製作所はエレベーターやエスカレーター、ビル管理などの設備機器を生産。関連会社を含め約3千人が働いており、昇降

エレベーターの駆動装置の説明を受ける参加者



機を造るマザー工場として世界90カ国以上に製品を供給している。

参加者らは、ショールームで昇降機が動く仕組みなどを学んだほか、製造現場も見学。また、同製作所敷地内にある高さ約173メートルのエレベーター試験棟「ソラエ」を訪れ、世界最高レベルの技術力を体感した。

同協会は、建築設備士や設備設計1級建築士らで構成する団体。設備女子会は2016年に発足し、女性の資格保持者を増やすことなどを目的に、研修会や親

睦を深める活動を展開している。見学会は12回目。